

らくちん 編隊飛行

ガンやハクチョウがよくきれいな V 字型の編隊飛行をしているのを見かける。またカワウのような大型のトリも同様の編隊を組んで飛ぶので、それをガンと間違えることもある。

実はあの編隊飛行には驚くべきエネルギー節約があり、先頭のリーダーを除く後続のトリたちはかなりの「らくちん飛行」をしているのだ。先行のトリの翼の上下動によって起こされる空気の渦が後ろへ押し出され、つまり「後流」が発生する。その「後流」に乗って自分のエネルギーを消耗することなく楽々に飛ぶというのだ。

アメリカの鳥類学者の研究によると V 字編隊で飛ぶと飛翔距離が 71% も伸びたという。単独飛行では 100 マイルだったものが、編隊飛行では 171 マイルにも伸びたことになる。軍用機も同じように V 字編隊を組むのはトリから学んだことだろうが、ジェット機の場合は強烈な後流をまともに受けると危険があるので必ず高度差をとり、うまく後流に乗るのが省エネの秘訣といわれている。

先頭のリーダーはどうなるのだろうか？

大宮のハクトウワシ

『しらこぼと』 No. 206、2001年6月号より